

# さんSUNひろば

VOL. 6

北海道看護協会 札幌第3支部

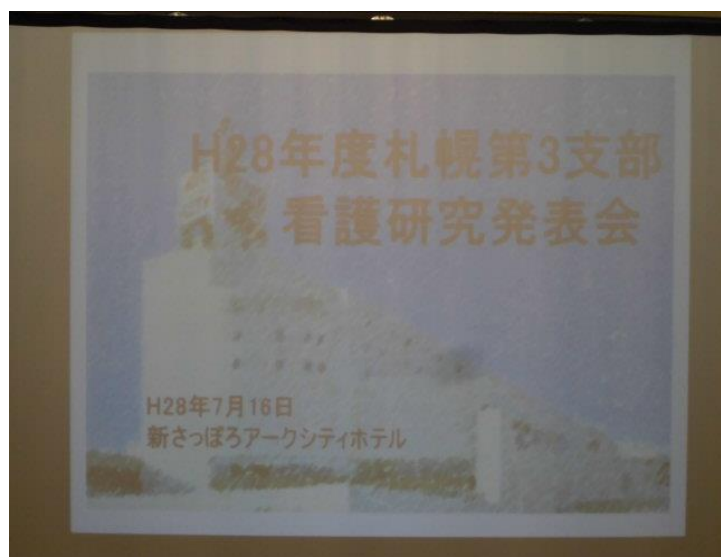
## 看護研究発表会

7月16日（土）に今年も新さっぽろアー  
クシティホテルで看護研究発表会が開催され  
ました。昨年より参加者数は49名増え、  
172名35施設が参加しました。演題数は  
3題増え17演題発表しています。

ここ数年、規模が縮小傾向でしたが、再び活  
性化してきたことはうれしい限りです。研究  
の発表の場として例年活用している施設も  
多く、研究発表上のマナーやポイントを学ぶ  
機会にもなっていると伺っております。研究  
発表の質も向上してきているのを感じてい  
ます。地域で繋がりのある施設がお互いの

取り組みを共有する場ととらえ、今後も多くの参加を期待します。

札幌第3支部教育委員長 大場 朝宏





平成 28 年 7 月 16 日 (土)

新さっぽろアーキシティホテルを会場とし、180名という多くの方々が参加され第3支部の看護研究発表会が開催されました。



17演題の発表があり、研究テーマは多岐にわたり、日常の看護実践において参考になるものばかりでした。会場からは研究内容へ深い関心をもった質疑があり、有意義な時間を過ごせたと思います。



また、発表された皆様は忙しい日常業務の中、看護研究に取り組むことはご苦労が多かったことと思いますが、看護研究の成果が視野を広げることや看護の向上に欠かせないものと考えます。本当にご苦労様でした。

広報委員



# 助産師職能委員会 シンポジウム



平成 28 年 8 月 20 日(土)、市立札幌病院  
において「地域との連携」～妊娠・出産・  
子育ての切れ目のない支援を目指して～  
というテーマでシンポジウムが開催され  
ました。



当日は助産師のみならず、保健師、  
産婦人科医師、精神保健福祉士等の他職種  
も含め、76 名の参加がありました。  
シンポジストとして北海道大学病院  
助産師の青木綾子先生、北広島市保健師の  
田淵亜紀先生、札幌市児童相談所から金子  
望先生の 3 名をお迎えしました。前半、

青木先生から特定妊婦への支援について、田淵先生からは地域における保健師の



活動について、金子先生からは児童虐待について講演していただき、その後、フロアを交えて意見交換・討論を行いました。他職種の参加者からも多くの意見をいただき、充実した時間となりました。今回のシンポジウムを通し、職種を超えて

関係者同士が連携することの重要性を再認識することができ、また、いま自分たちにできることは何かをもう一度考える機会にもなりました。

助産師職能委員長 千葉 靖子

8月20日に開催された助産師職能研修はシンポジウムの形式で行われ、あいにくの雨の中でしたがたくさんの方が参加し意見を交わしました。

地域連携をテーマに、病院、保健師、児童相談所の3名の方々がシンポジストとして発表し、それぞれの立場からの地域連携を学ぶことができました。参加された助産師の方々も、総合病院と単科の病院とでは立場も違いますが、同じように困難事例と向き合い努力している姿が見えました。

助産師職能委員の皆さん、お疲れ様でした。

広報委員



#### 編集後記

今年の夏は、オリンピックのメダルラッシュや甲子園での北海高校の準優勝などが重なり、例年より熱く燃えた夏となりましたが皆様はいかがでしたでしょうか。

そしてこれからは紅葉&食欲の秋ですね。季節の変わり目は体調を崩しやすいので御自愛してくださいね。私も美味しいものをたくさん頂きつつ、日々の業務を邁進していきたいと思っています。

広報委員 S. Y